

一般演題プログラム

第1日目 平成17年10月15日(土)

大ホール

9:00-10:40

A. インフルエンザ

座長：喜田宏（北海道大学大学院）、保富康宏（三重大学）

A1	浮遊培養可能な新たなMDCK細胞の樹立	岩手医科大学 医学部 細菌学 堤 玲子
A2	コンビナトリアルバイオロジーを用いた、インフルエンザウイルスを効果的に中和するヒトモノクローナルFab抗体の分離と解析 大分大学総合科学研究支援センター 山城 哲	
A3	抗酸菌分泌抗原Ag85Bの新規アジュバントとしての可能性 三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻病態解明医学講座 唐松克夫	
A4	ウイルス様中空粒子(VLP)を用いたインフルエンザウイルスに対する経口DNAワクチン 三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻病態解明医学講座 松原明弘	
A5	2004/2005シーズン用インフルエンザワクチン株由来ワクチンのマウスへの経鼻接種効果検討 財団法人阪大微生物病研究会観音寺研究所 谷本武史	
A6	経鼻接種インフルエンザワクチンの接種濃度と交叉防御効果との相関 東海大学・工・生命化学 宮腰隆史	
A7	経鼻不活化インフルエンザワクチンの開発 国立感染症研究所感染病理部 田村慎一	
A8	アジュバント併用経鼻H5N1インフルエンザワクチンの有効性の検討 国立感染症研究所 感染病理部 一戸猛志	
A9	弱毒化H5N1高病原性鳥インフルエンザウイルスを用いたアルムアジュバント添加ワクチンのマウスにおける有効性の検討 国立感染症研究所ウイルス第三部インフルエンザウイルス室 二宮 愛	
A10	インフルエンザパンデミックワクチン開発に係わる試作モックアップワクチンの調製及びその性状 国立感染症研究所ウイルス第三部 板村繁之	

10:40-11:50

B. インフルエンザ

座長：森島恒雄（岡山大学大学院）、熊谷卓司（（医）社団恒仁会／まがい小児科）

B1	経気道不活化全粒子インフルエンザワクチン被接種成人および年長児における特異的免疫応答の経時的推移 札幌小児アレルギー感染症研究会 熊谷卓司	
B2	重症心身障害児(者)に対するインフルエンザワクチン接種についての検討 接種開始より6年を経過して 独立行政法人 国立病院機構 南岡山医療センター 小児科 春摘 誠	
B3	高齢者(65歳以上)のインフルエンザ予防接種後のHI抗体価推移について(2001～2004年) 順天堂大学 杉下由行	
B4	血液透析(HD)患者に対するインフルエンザワクチン(Flu-Vac.)複年接種と効果 前田記念腎研究所 前田貞亮	
B5	不活化インフルエンザワクチン接種によるAH3型交差抗体の誘導 大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学 前田章子	
B6	インフルエンザ迅速診断キットの有用性 愛知県厚生連昭和病院 小児科 渡邊直子	
B7	パンデミック時の薬剤使用優先順位に関する調査研究 国立感染症研究所 大日康史	

小ホール

9:00-10:30

C. 細菌

座長：荒川宣親(国立感染症研究所)、尾崎隆男(愛知県厚生連昭和病院)

C1	小児科領域における <i>Haemophilus influenzae</i> の細菌学的検討	愛知県厚生連昭和病院 臨床検査科 舟橋恵二
C2	Hibの疾病負担に関する検討	にしむら小児科 西村龍夫
C3	抗菌薬使用を減らすワクチン療法	和歌山市 中谷クリニック 中谷正輝
C4	DTPa三種混合ワクチン接種により誘導されるTh1 / Th2反応の測定	聖マリアンナ医科大学小児科 勝田友博
C5	ヘモフィルスインフルエンザB型菌ワクチンに含まれる破傷風トキソイドの免疫原性の検討	国立感染症研究所 細菌第二部 福田 靖
C6	沈降精製DPTおよびDPT-IPVワクチンの安全性	国立感染研 細菌第二部 片岡紀代
C7	年長児へのDTaPワクチン接種後の抗体反応と副反応	国立病院機構福岡病院小児科 岡田賢司
C8	反復性中耳炎患児における肺炎球菌表面蛋白抗原(PspA)特異的免疫応答	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科 保富宗城
C9	母体免疫による乳幼児期インフルエンザ菌特異的免疫応答の変化	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科 山内一真

10:30-11:10

D. 結核

座長：宮崎千明(福岡市立西部療育センター)

D1	乳児BCG直接接種の導入に関する全国自治体への緊急実態調査	日本外来小児科学会予防接種委員会 永井崇雄
D2	BCGワクチン直接接種に関する堺市の対応について	国立感染症研究所感染症情報センター、堺市保健所医療対策課 安井良則
D3	結核予防法改正前の栃木県下市町におけるBCGワクチン累積接種率	東京都立駒込病院小児科 高山直秀
D4	堺市におけるコッホ現象の2症例	堺市保健所医療対策課 藤井史敏

11:10-11:50

E. ワクチンの安全性

座長：多屋馨子(国立感染症研究所感染症情報センター)、堀内善信(国立感染症研究所)

E1	新聞記事にみる予防接種関連ミスの分析とリスクマネージメント	川崎医科大学小児科第一講座 新妻隆広
E2	ワクチンの安全性・有効性と評価システム	国立感染研、細菌第二部 堀内善信
E3	包括的遺伝子発現解析による、百日せきワクチンの新しい安全性評価法の開発	国立感染症研究所 浜口 功
E4	レーザー粒径測定型血小板凝集計を用いたフロキュラシオンアッセイ系の構築	国立感染症研究所 細菌第二部 岩城正昭

大ホール

第2日目 平成17年10月16日(日)

9:00-10:00

F. 麻疹

座長： 加藤達夫(聖マリアンナ医科大学)、中山哲夫(北里生命科学研究所)

F1	感染症発生動向調査における5年間の地域別麻疹流行状況の解析	国立感染症研究所感染症情報センター 上野久美
F2	大学入学時における既往歴および接種歴調査と接種勧奨 - 岡山県における試み -	川崎医科大学小児科第1講座 寺田喜平
F3	移行抗体レベルからみた麻疹、ムンプス、風疹、水痘各種生ワクチン接種時期の検討	国立病院機構三重病院小児科 廣原俊昭
F4	麻疹の流行が麻疹ワクチン接種後の抗体持続に及ぼす影響について	岡藤小児科医院 岡藤輝夫
F5	麻しん風しん混合生ワクチンの臨床試験	財団法人阪大微生物病研究会 上田重晴
F6	外来蛋白を発現する麻疹ウイルスAIK-Cワクチン株の樹立	北里生命科学研究所 ウィルス感染制御 I 中山哲夫

10:00-11:20

G. フラビウイルス

座長： 倉根一郎(国立感染症研究所)、城野洋一郎((財)化学及血清療法研究所)

G1	ヒトおよびブタにおける全国の日本脳炎抗体保有状況(感染症流行予測調査事業より)	国立感染症研究所 感染症情報センター 佐藤 弘
G2	東京都葛飾区の一診療所の患者からみた同地域における日本脳炎ウイルス不顕性自然感染の可能性に関する考察	永寿堂医院 松永貞一
G3	Mucosal immunization can induce protective immunity against Japanese encephalitis virus in a murine model	Center of Molecular Biosciences, University of the Ryukyus Ai Komesu
G4	無血清培地を用いた日本脳炎ワクチンの製造法に関する研究	国立感染症研究所 ウィルス第一部 高崎智彦
G5	マウス脳由来及びVero細胞由来不活化日本脳炎ワクチン抗原の免疫学的同等性の研究	(財)化学及血清療法研究所 第二研究部 阿部元治
G6	組織培養不活化日本脳炎ワクチン(KD-287)の検証的試験(第一相)成績	KD-287研究会 宮崎千明
G7	日本脳炎ワクチン(細胞培養)の臨床試験	財団法人阪大微生物病研究会 上田重晴
G8	ウエストナイルウイルス感染症に対するDNAワクチンのマウスにおける評価	神戸大学医学部医療基礎学講座 石川知弘

11:20-11:50

H. アジュバント

座長： 高見沢昭久((財)阪大微生物病研究会)

H1	ヘテロ型5量体コレラトキシンBサブユニット(CTB) - ワクチンキメラ分子による粘膜免疫	琉球大・遺伝子実験センター、院農・生物生産 原國哲也
H2	ポリ - グルタミン酸を用いたガンワクチンキャリアの開発	大阪大学薬学研究科応用医療薬科学 飯田恵介
H3	経皮免疫ワクチンの可能性	国立感染症研究所 血液・安全性研究部 内藤誠之郎

小ホール

9:00-9:30	I. 海外渡航 座長：中野貴司(国立病院機構三重病院)	
I1	わが国の海外渡航者に対する複数ワクチン同時接種の現状と課題	国立国際医療センター 水野泰孝
I2	海外留学時に必要な予防接種	名鉄病院予防接種センター 宮津光伸
I3	海外渡航者の中のワクチン接種の知識についての検討 検疫所予防接種外来での経験から	仙台検疫所長 岩崎恵美子
9:30-10:00	J. ワクチニア、マラリア 座長：板村繁之(国立感染症研究所)	
J1	高度弱毒化ワクチニアウイルス株DIの組換えSARSワクチンとしての検討	国立感染症研究所 ウィルス第二部 石井孝司
J2	遺伝的安定性と免疫原性に優れた弱毒痘瘡ワクチン株の開発とB5R遺伝子の機能	国立感染症研究所ウイルス第三部 木所稔
J3	Malaria transmission-blocking mucosal vaccines against Plasmodium falciparum Center of Molecular Biosciences, University of the Ryukyus Takeshi Arakawa	
10:00-10:30	K. CRS 座長：寺田喜平(川崎医科大学)	
K1	2000～2005年の風疹及び先天性風疹症候群の発生動向 - 感染症発生動向調査より -	国立感染症研究所感染症情報センター 中島一敏
K2	風疹に対する免疫を獲得した母親から生れた先天性風疹症候群症例の解析	CDC 加藤茂孝
K3	先天性風疹症候群(CRS) 1990 - 2000:全国聾学校アンケート調査	西南女学院大学 植田浩司
10:30-11:50	L. 水痘、ムンブス 座長：庵原俊昭(国立病院機構三重病院)、永井崇雄(永井小児科医院)	
L1	水痘・ムンブスの定期予防接種化に向けた費用対便益分析	筑波大学大学院人間総合科学研究科 菅原民枝
L2	堺市内の保育施設児童における水痘・ムンブスの罹患状況とワクチン接種状況に関する検討	国立感染症研究所感染症情報センター 安井良則
L3	水痘、ムンブスによる入院例に関する検討～全国アンケート調査より～	国立感染症研究所感染症情報センター 多屋馨子
L4	2004年の北海道内24施設における水痘、ムンブス、肺炎球菌感染症などによる入院例の検討	札幌医科大学医学部小児科 田中香織
L5	小児病棟における水痘帯状疱疹ウイルス感染予防対策の実践:その効果と限界	長崎大学医学部・歯学部附属病院小児科 森内浩幸
L6	ムンブスワクチン接種率向上が地域流行に及ぼす効果	落合小児科医院 落合 仁
L7	弱毒生あたふくかぜワクチンの神経毒力試験に用いる動物モデルの開発 -各種実験動物におけるムンブスウイルスの感受性についての病理学的検討-	国立感染症研究所 永田典代
L8	ヒトヘルペスウイルス6脳炎の全国調査	刈谷総合病院小児科 大橋正博